

情報連絡員・関係機関 各 位

高知県中小企業団体中央会
(公印省略)

情報連絡員報告総括表（令和 7 年 4 月次）の送付について

標記総括表を取りまとめましたので、ご参考までに送付いたします。

令和 7 年 4 月次情報連絡員報告のまとめ

※DI とは、「好転」と回答した企業の割合 － 「悪化」と回答した企業の割合。

DI 値がマイナスの場合は、悪化したと回答した企業の数が多いことを示す。

《調査対象：製造業 15 組合等、非製造業 19 組合等 計 34 組合等 回答率：100.0%》

【製造業】では、「売上高」（DI 値▲26.7）は 13.4 ポイント、「販売価格」（DI 値 20.0）は 6.7 ポイント前月より悪化。「設備操業度」（DI 値▲26.7）、「資金繰り」（DI 値▲6.7）、「取引条件」（DI 値 0.0）、「雇用人員」（DI 値 6.7）は同水準となった。「在庫数量」「業界の景況」（DI 値▲26.7）は 6.6 ポイント、「収益状況」（DI 値▲33.3）は 6.7 ポイント前月より改善した。

【非製造業】では、「売上高」（DI 値▲36.8）は 15.7 ポイント、「販売価格」（DI 値 26.3）は 10.5 ポイント、「在庫数量」（DI 値▲20.0）は 10.0 ポイント、「雇用人員」（DI 値▲31.6）は 5.3 ポイント前月より悪化。「収益状況」（DI 値▲36.8）、「資金繰り」（DI 値▲21.1）、「設備操業度」（DI 値 0.0）は同水準となった。「業界の景況」（DI 値▲36.8）、「取引条件」（DI 値▲15.8）は 5.3 ポイント前月より改善した。

【全体】では、「販売価格」（DI 値 23.5）は 8.9 ポイント、「雇用人員」（DI 値▲14.7）は 2.9 ポイント前月より悪化した。「設備操業度」（DI 値▲26.7）、「在庫数量」（DI 値▲24.0）、「資金繰り」（DI 値▲14.7）は同水準となった。「取引条件」（DI 値▲8.8）は 3.0 ポイント改善した。

なお、主要指標については、「売上高」（DI 値▲32.4）は 14.8 ポイント前月より悪化し、「収益状況」（DI 値▲35.3）は 2.9 ポイント、「業界景況」（DI 値▲32.4）は 5.8 ポイント前月より改善した。

○一部の業種からは、先行きの見えない米国関税による売上への影響を懸念する声が寄せられた。

○原材料及び仕入価格等の高騰による経費負担の増加に苦慮する声もあり、各業界ともに厳しい状況に置かれている。

県内各業界別の動向

<令和7年4月>

高知県中小企業団体中央会

1. 情報連絡員報告総括表

0		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製造業	食料品	0	1	1	0	2	0	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1
	繊維工業	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	木材・木製品	0	1	2	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	1	2
	紙・紙加工品	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0
	印刷	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	化学ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	窯業・土石製品	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0
	鉄鋼・金属工業	1	1	0	0	0	2	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0
	一般機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	輸送用機器	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0
	製造業その他	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
小計		1	9	5	0	11	4	3	12	0	0	15	0	0	10	5	0	14	1	0	11	4	2	12	1	0	11	4
非製造業	卸売業	1	1	1	0	3	0	1	1	1	0	3	0	0	2	1	0	3	0	X			0	3	0	0	1	2
	小売業	1	1	2	0	2	2	1	3	0	0	3	1	1	1	2	0	3	1				0	2	2	1	1	2
	商店街	0	3	0	0	3	0	2	1	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0				0	2	1	0	2	1
	サービス業	0	0	5	X			1	4	0	0	3	2	0	2	3	0	3	2				0	4	1	0	3	2
	建設業	0	2	0				1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0				0	2	0	0	2	0
	運輸業	0	1	1				0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1				0	0	2	0	1	1
	その他	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0
	小計	2	8	9	0	8	2	6	12	1	0	16	3	1	10	8	0	15	4	X			0	13	6	1	10	8
合計		3	17	14	0	19	6	9	24	1	0	31	3	1	20	13	0	29	5				2	25	7	1	21	12

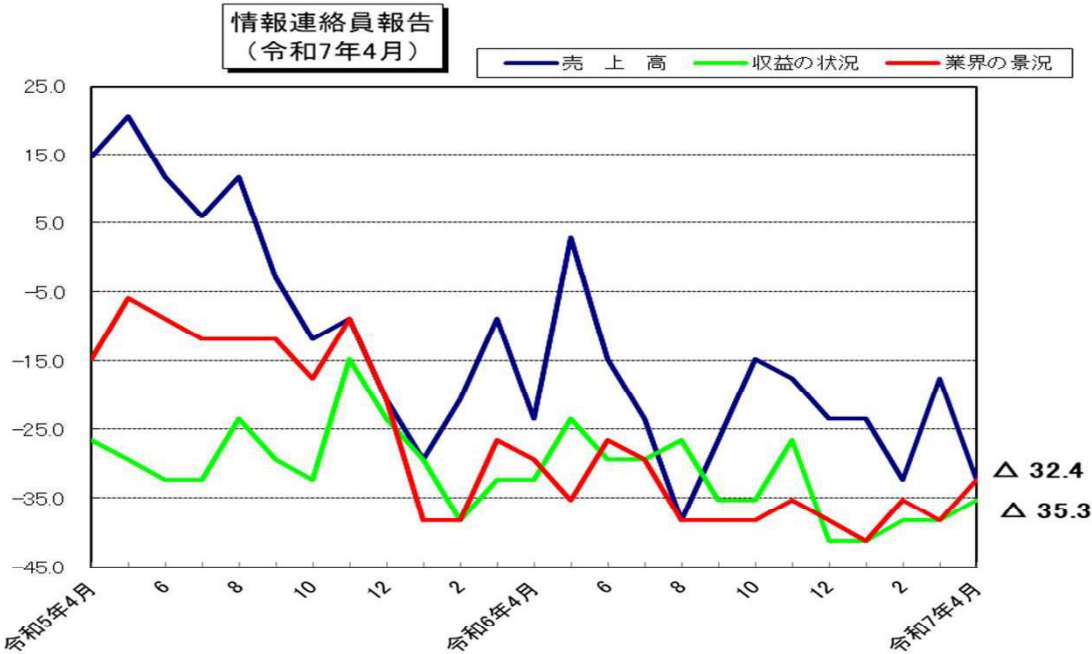
2. 景気動向指数（売上高、収益の状況、業界の景況）

【3月分集計】

	売上高	収益の状況	業界の景況
製造業	▲ 13.3	▲ 40.0	▲ 33.3
	増加：3 / 15	好転：0 / 15	好転：0 / 15
	不変：7 / 15	不変：9 / 15	不変：10 / 15
	減少：5 / 15	悪化：6 / 15	悪化：5 / 15
非製造業	▲ 21.1	▲ 36.8	▲ 42.1
	増加：5 / 19	好転：2 / 19	好転：1 / 19
	不変：5 / 19	不変：8 / 19	不変：9 / 19
	減少：9 / 19	悪化：9 / 19	悪化：9 / 19
全体	▲ 17.6	▲ 38.2	▲ 38.2
	増加：8 / 34	好転：2 / 34	好転：1 / 34
	不変：12 / 34	不変：17 / 34	不変：19 / 34
	減少：14 / 34	悪化：15 / 34	悪化：14 / 34

【4月分集計】

	売上高	収益の状況	業界の景況
製造業	▲ 26.7	▲ 33.3	▲ 26.7
	増加：1 / 15	好転：0 / 15	好転：0 / 15
	不変：9 / 15	不変：10 / 15	不変：11 / 15
	減少：5 / 15	悪化：5 / 15	悪化：4 / 15
非製造業	▲ 36.8	▲ 36.8	▲ 36.8
	増加：2 / 19	好転：1 / 19	好転：1 / 19
	不変：8 / 19	不変：10 / 19	不変：10 / 19
	減少：9 / 19	悪化：8 / 19	悪化：8 / 19
全体	▲ 32.4	▲ 35.3	▲ 32.4
	増加：3 / 34	好転：1 / 34	好転：1 / 34
	不変：17 / 34	不変：20 / 34	不変：21 / 34
	減少：14 / 34	悪化：13 / 34	悪化：12 / 34



4月の県内各業界別の動向

(前年同月比)

製造業	業種	売上 受注	在庫 数量	販売 価格	取引 条件	収益 状況	資金 繰り	操業 度	雇用 人員	業界 景況
	食料品（団地） 県食品工業団地	☼	☼	☀	☼	☼	☼	☼	☼	☼
	〃（酒類） 県酒造	☂	☼	☀	☼	☂	☼	☂	☼	☂
	繊維製品（帆布製品） 県テント・シート	☼	☂	☼	☼	☂	☼	☼	☼	☼
	木材・木製品（素材） 素材生産業	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼
	〃（一般／県域） 県木材	☂	☼	☼	☼	☂	☂	☂	☼	☂
	〃（一般／県域） 県建具	☂	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☂	☂
	製紙（機械すき） 製紙工業会	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼
	製紙（手すき） 県手すき和紙	☼	☂	☼	☼	☼	☼	☂	☼	☼
	印刷（印刷） 県印刷刷	☂	☼	☼	☼	☂	☼	☂	☼	☂
	窯業・土石（生コン） 県生コンクリート	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼
	〃（コンクリート製品） 県コンクリート製品	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼
	鉄鋼金属（鍛造） 土佐刃物	☀	☂	☀	☼	☼	☼	☼	☀	☼
	〃（団地） 機械工業団地	☼	☂	☼	☼	☂	☼	☼	☼	☼
	輸送機器（船舶機械） 四国建機	☂	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☀	☼
	その他製造業（珊瑚） 日本珊瑚	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼	☼

非製造業	業種	売上 受注	在庫 数量	販売 価格	取引 条件	収益 状況	資金 繰り	操業 度	雇用 人員	業界 景況
	卸売（団地） 卸商センター	☼	☼	☀	☼	☼	☼		☼	☂
	〃（青果） 高知中央市場青果仲卸	☂	☼	☂	☼	☂	☼		☼	☂
	〃（鮮魚） 高知中央市場鮮魚仲卸	☀	☼	☼	☼	☼	☼		☼	☼
	小売（一般／四万十町） しばてんカード	☂	☂	☀	☂	☂	☂		☼	☂
	〃（家電） 県電機	☀	☂	☼	☼	☀	☼		☼	☀
	〃（中古車） 県中古自動車	☼	☼	☼	☼	☼	☼		☂	☼
	〃（石油） 県石油商業	☂	☼	☼	☼	☂	☼		☂	☂
	商店街（安芸市） 安芸本町	☼	☼	☀	☼	☂	☼		☼	☂
	商店街（高知市） 高知市筋	☼	☼	☼	☼	☼	☼		☼	☼
	〃（四万十市） 四万十市商振連	☼	☼	☀	☼	☼	☼		☂	☼
	サビス（旅館） 県旅館ホテル	☂		☼	☂	☂	☼		☼	☼
	〃（飲食店） 喫茶飲食	☂		☀	☂	☂	☂		☂	☂
	〃（旅行） 県旅行業	☂		☼	☼	☼	☼		☼	☼
	〃（情報） IT事業	☂		☼	☼	☼	☼		☼	☼
	〃（クリーニング） 県クリーニング	☂		☼	☼	☂	☂		☼	☂
	建設（一般／県域） 中村地区建設	☼		☼	☼	☼	☼		☼	☼
	〃（電気工事） 県電気工事業	☼		☀	☼	☼	☼		☼	☼
	運輸（トラック） 高知総合輸送	☂		☼	☼	☂	☂		☂	☂
	〃（タクシー） 高知市ハイヤー	☼		☼	☼	☼	☼		☼	☂

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	食料品	食料品製造業（団地）	4月度商況は昨年並み。月末前より、5月のGW用商品の動きは活発であった。経営者からは、「コスト管理の計画が諸物価の値上がりにより修正するばかりとなっている」といった声が多く、厳しいものを感じる。
		酒類製造業	原料米の価格の問題、米国の関税問題など、懸念条件が山積みである。
	繊維工業	帆布製品製造業	原材料の高騰について、販売価格へのスムーズな転嫁が厳しい状況が続くと思われる。このような状況の中、5月より防災加工製品の値上げがあり、厳しい状況となっている。
	木材・木製品	木製品素材生産業	4月期の出材量は先月並みではあるが昨年と比べると若干の減少となっている。丸太価格についても前月同様、製材品の動きが依然として鈍く、丸太の引き合いも一部弱くなっており、価格は弱含みで推移している。今後も出材量は変わらず少ない状況が続くと思われる。また、価格も大きな変動は見込めない。
		一般製材業	燃料・資材等コストは上昇しており、収益面は低調である。
		建具製造業	公共工事、個人住宅（特に新築住宅）の仕事が少なく、GW前の駆け込みの仕事も少なかった。
	紙・紙加工品	機械すき和紙製造業	紙製品全体の販売金額及び生産量は、昨年同月比で若干の減少に留まったが、販売量は前年同月比を落ち込んだ。特に衛生用紙においては、その他の衛生用紙の販売量が大きく落ち込んでおり、全体の販売量減少に影響を与えている。なお、衛生用紙のトイレットペーパーおよびタオルペーパーは、先月と同様に販売金額・販売量ともに好調に推移している。
		手すき和紙製造業	今月は前年と比較してほぼ横ばいの状況だった。厳しい状況は変わらないが、今後の情勢によっては危機的状況になる恐れもある。
	印刷	印刷業	先月に引き続き操業度は低下傾向。県内需要は全般に低調、県外需要は持ち直した感じがある。また、用紙及びインキの出荷量は減少し、版材は昨年同様に小ロット化が進んでいる模様。
	窯業・土石製品	生コンクリート製造業	4月度の全組合員の出荷量は、対前年比91.4%であった。地域的には中央地区が増加しているが、その他の地区は対前年比60～90%程度で減少している。
		コンクリート製品	対前年同月比98.0%と昨年と同様の状況である。公共事業の予算規模も昨年と同じ程度であるため、今後も同様に推移すると考えている。
	鉄鋼・金属	刃物・金物類製造業	注残分の品がまとまって仕上り、売上が大きく伸びた。しかし、この後がどうなるか心配なところである。最近は海外からの受注が少し落ちてきたような感じも受ける。
		金属製品製造業（団地）	需要が停滞する中で「電気代や労務費などの上昇が収益を圧迫している」「輸出系企業との取引ではトランプ関税により先行きが見えず需要が悪化しつつある」といった声が上がっている。団地内の業況は一進一退で改善は見られない。
	輸送機器	船舶製造・修理業	出荷額は先月を下回っている。4月は新入社員が入社し人員増となった。
	その他の製造業	装飾品・同関連品製造業	4月度の取引額は、前年同月比58%と大幅な減少となった。
	卸売業	各種商品卸売業（団地）	観光、外食に関して、全体的に動きが鈍い印象。「あんぱん」効果により好転することを期待するが、全体的な値上げの影響は否めない。また、アメリカの関税措置による株価の不安定さも売上に大きく影響しているようである。早期解決を望む。
		青果卸売業	4月の取扱高は組合員全体で前年対比87.4%となった。野菜の単価が下がった事と果物の入荷減が原因。今年の1月～4月の累計でも前年比99.9%となり青果業にとって非常に厳しい状況。
		生鮮魚介卸売業	1～3月は例年になくカツオの入荷が少なかった。4月に入ってから、順調に入荷している。やはりカツオがあれば活気がある。今後にも期待している。
	小売業	各種商品小売業（四万十町）	4月は新入生入学の時期であり、特に用品関連の動きがある月である。しかし、地域内の新入生の数は減る一方であり、用品関連の売上も年々減少している。本年度はGWも前半と後半に分かれており、地域内への観光客流入は4月時点では多くない印象である。物価高騰も続いており、地域の小売商店にとって依然厳しい状況が続いている。
		電気機械器具小売業	4月度はサンピアでパナソニック合展 春の大感謝祭が開催された。多くの方にご来場頂き、400ℓから500ℓの大型冷蔵庫・省エネタイプエアコン・エコキュートが好調であった。全商品平均で前年比116.8%となった。
		中古自動車小売業	オークション等での流通量も増加しており、注文車両も車種によって異なるが、比較的仕入れ易く納車までの期間が短くなっている。また、来店数も増加傾向にあり注文車両だけでなく展示車両の回転も早い。これから流通量も徐々に減少するので、仕入れを強化している。
		ガソリンスタンド	4月末現在の激変緩和措置の補助額は0.9円/Lとなり先週の0円より増額となった。政府の激変緩和措置の補助は5月より新たな補助へ変わり定額10円となる見込みである。詳細は分かっていないが恐らく段階的に10円まで補助額を上げていく見通しである。それに伴い市況も段階的に下がるとと思われる。原油価格は下落気味だが戦争が終結しない以上先が読めない。
		安芸市	昨年、好評だったお花見会を実施。今年は約70名の参加があった。2月に「きさらぎ市」の復活をさせた安芸高校生が成果を発表し、商店街で仕入れた料理や地域活動支援センター「ニコスマイル」の特製『ニコ焼き』などもふるまわれ、楽しく交流ができて皆さんに喜ばれた。商店街に新しく出来たAI活用型コンタクトセンター「エバユニーク安芸」の開所式があり、約20名が雇用され地域のにぎわいが期待される。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
非 製 造 業	商店街	高知市	駐車場状況について、利用台数は前年の101.1%（206台増）、料金収入は前年の103.8%（306千円増）。4月5日（土）・6日（日）の2日間、「高知アニクリ祭2025」が高知市中心市街地で開催された。メイン会場は高知県民体育館で、おまちエリアとして常屋町商店街及びおまち多目的広場でもイベントが行われた。両日とも多くの来街者が訪れ、商店街は大いに賑わった。4月にはクルーズ船が13隻寄港し、ひろめ市場を中心に多くの外国人観光客が訪れ、商店街は賑わいを見せた。
		四万十市	今年の藤祭りは中止。来年からどういう形態にするのか実行委員会で検討中。下町郵便局の田中局長が退職され、竹外(新)局長が就任された。月末の「おかみさんまつり」は多数の出店があったが駐車場が空いてなくて寄れなかった、という声も多かった。
	サービス業	旅館・ホテル	1～2月に比べると宿泊客は増加しているが、前年に比べると状況は悪化。GWも予約受注は伸びず、需要は5月3日・4日に集中している。宴会動向はまずまずの受入状況である。
		飲食店	売上高は12ヶ月連続で前年同月を下回った。前年度比で5～10%減。高知市中心部や観光、レジャー等に係る飲食店に限って言えば集客は好調だったが、県の東・西部の集客は悪い。全体としてはコロナ禍以前との売上比較で約8～9割。物価高により県内消費者の購買意欲が相当下がっており、集客が覚束ない。前年同月に比べ更に物価は高騰。光熱費、仕入価格、人件費、ありとあらゆるものが上昇しているが、顧客離れによる集客の低下の懸念から業界の価格転嫁は十分ではない。
		旅行業	組合クーポン前年同月対比79%。全旅クーポン合算後、前年同月対比74%。修学旅行の実施時期の変更（春から秋へ）を受け、宿泊売上が大幅に減少している。
		情報サービス業	今月の売上は、年度末であった先月に続き伸び悩み、前年度比では過去5年間で最も低調な結果となった。一方、共同受注事業においては、青年部を中心とした自治体の入札活動が進捗し、契約に結びつく成果が出始めている。これらの案件は売上としては概ね1年後に反映される見込みであり、現時点では数値に現れていないものの、引き続き地道な取り組みを継続していく方針である。また、組合員間でリソースや得意分野を把握・共有する仕組みづくりを進めており、座談会などを通じた交流も活発化している。今後は、補助金の活用も視野に入れつつ、組合員全体で顧客の潜在需要の掘り起こしに注力していきたい。
		普通洗濯業	ホームクリーニングは冬物の衣替え時期に当たり繁忙期であるが、物価高騰による節約志向、衣類カジュアル化の一層の進展、肌寒い季節の関係などの影響が、需要点数が減少している。物価、エネルギー価格、資材価格が上がっても、料金改定アップできる状況にはない。リネンサプライは堅調。
	建設業	一般土木建築工事業	高知県、四万十市の発注工事高は前年4月と同程度である。
		電気工事業	組合員の施工する電力引込線工事量は、前年同月比132.5%となった。高知中央地区が51%減となったが、特に香長・須崎地区が大幅増となった。
	運輸業	一般貨物自動車運送業	組合事業は昨年度を若干下回った。組合員企業も業績は伸びていない。燃料価格は高止まりしたままではあるが、トランプ政権の関税等の混乱により円高傾向や原油価格が落ち着いたこともあり、補助金がほぼ0円となったにも関わらず4月は数十銭の上げにとどまった。コロナ以降ずっと荷動きが低迷した状態での新年度はまだまだ厳しい状況といえる。
		一般乗用旅客自動車運送業	実働1日1車当りの前年同月比運送収入：103.7%、輸送回数：107.2%、実働率：50.2%。前月21日より配車アプリがスタートした。頑張って始めた会社もあるが、使い方がまだスムーズにいかないドライバーも居て大変のようである。いろいろ問合せがあるが、ダウンロードすれば1,000円のクーポンが付いている。4,000枚のクーポンはなくなり市役所は3,000枚追加したようである。タクシーが必要な時はアプリで呼んでください。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	食料品製造業(団地)	中小食品製造業の製造用機械投資への補助金・補助率を充実し、申請書類の簡素化を要望する。
卸売業	各種商品卸売業(団地)	インボイス制度導入による事務負担が増えている。早期に国の対策を示すよう働きかけてほしい。
鉄鋼・金属	金属製品製造業(団地)	(鑄物事業所より) 鑄物工場で生じる産廃(鋳さい)について、日高村から佐川町に移行する管理型処分場の費用が4月から上昇しているが、今後も上昇する可能性を言われており、競争力確保のためにも、価格を抑えてもらいたい。
サービス業	情報サービス業	補助金などの最新情報があれば教えて頂きたい。
	普通洗濯業	灯油、重油、ガソリンなどのエネルギー価格を抑えてもらいたい。インボイス制度は専従の事務員がいらない個人企業にとって事務作業に相当の時間を取られ、本業にも影響する。廃止または簡略化してもらいたい。
	飲食店	業界の売上コロナ禍以前との比較で8～9割と厳しい。原材料や光熱費の高騰は収益を圧迫、更にコロナ時の特別貸付の返済も始まり、経営が厳しい事業主も多い。そもそも物価高により県内の消費者の購買意欲が相当下がっており、集客が覚束ない。経営状態の改善は急務、補助や助成など事業改善のサポートが必需。